「福岡市の考古学」スタートブック

「考古学」 (こうこがく) ?

「発掘」_(はっくつ)?

福岡市には遺跡 (いせき) がたくさん!いっしょに しらべてみよう!



たまちゃん コウコ しかさん (福岡市埋蔵文化財センター公式キャラクター)









福岡市埋蔵文化財センター

Fukuoka City Archaeological Center

「福岡市の考古学」スタートブック もくじ

- Q1 考古学(こうこがく)ってなに?
- Q2 発掘(はっくつ)ってなに?
- Q3 発掘ってどうやるの?
- Q4 発掘でなにがわかるの?
- Q5 遺跡は見学できるの?
- Q6 出土品はどこで見られるの?
- Q7 考古学の楽しさってなに?
- ・福岡市の「歴史」を知るための本
- ・福岡市の「考古学」を知るための本
- 考古学を学べるおもな福岡市内の大学



くわばらひぐし 貝面(西区桑原飛櫛貝塚/縄文時代)



盾持人埴輪(早良区拝塚古墳/古墳時代でもちびと



石製・ガラス製装身具 (博多区宝満尾遺跡/古墳時代)

(西区丸隈山古墳/水鳥形埴輪



(博多区博多遺跡群動物形陶磁製品



Q1 考古学(こうこがく)ってなに?

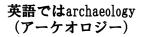
「古い」ことを「考えて」「学ぶ」?

関係することば(キーワード)

- ・遺跡 (いせき)
- 発掘(はっくつ)
- ・出土品 (しゅつどひん)
- ・土偶 (どぐう)
- 金印 (きんいん)
- ・邪馬台国 (やまたいこく)
- ・卑弥呼 (ひみこ)
- ・勾玉 (まがたま)
- ・ピラミッド

などなど

むかしの人のくらしのあとが地面にうまっているのが「遺跡」。 世界中の遺跡からいろんな発見があるんだ!













とうじき こうろかんあと 陶磁器 (中央区鴻臚館跡/奈良・平安時代)

Q2 発掘(はっくつ)ってなに?

「掘って」「発見する」?

発掘はだれでもやってよいものではありません。



文化財保護法(ぶんかざいほごほう)という法律でルールがきめられています。

発掘することは、遺跡を こわすことでもあるから かんたんにはできないんだ







恐竜 (きょうりゅう) の発掘と 遺跡の発掘はどうちがう?

…恐竜の化石 (かせき) は、かたい「石」の中に入っていますが、

遺跡はやわらかい「土」の中にうまっています。



かめ棺墓群(博多区金隈遺跡/弥生時代)



古墳石室(西区丸隈山古墳/古墳時代)

Q3 発掘ってどうやるの?

1. 遺跡をさがす

畑や家をつくるときに土の中からむかしの土器や石器が出てくるので、そこが遺跡とわかります。

2. 遺跡を掘る

遺跡は「埋まったそのままのすがた」をしらべることが大切です。

そのため、地面をスコップでどんどん掘るのではなく、ゆっくりゆっくり遺跡をこわさないように掘っていきます。

3. きろくをとる

土の中から出てきた出土品は、出てきたすがたを写真や絵(図面)に記録したあとに、土から取り出して持ち帰ります。

土を掘りやすいようにいろんな道具を 工夫したり、記録をとるためにいろん な機械を使ったりします。



たて穴住居(早良区東入部遺跡/縄文時代)

かくにんしてみよう!







遺跡があるかどうかを確認する ために、少しだけ掘ることを試 掘(しくつ)といいます

遺跡発掘には

- ・ねばり強くがんばる力
- ・こまかい作業に集中する力
- ・むかしのことを知りたいと いう強い気持ち

が必要!





Q4 発掘でなにがわかるの?

★★福岡市内のおもな発掘成果★★

○板付 (いたづけ) 遺跡

キーワードは「最古の水田」

〇吉武高木 (よしたけたかぎ) 遺跡

キーワードは「最古の王墓」

○鴻臚館 (こうろかん) 跡

キーワードは「古代の迎賓館

(げいひんかん)」

〇元寇防塁 (げんこうぼうるい)

キーワードは「蒙古襲来

(もうこしゅうらい) 」

○福岡城 (ふくおかじょう) 跡

キーワードは

「黒田官兵衛・長政親子」

福岡市では他にもたくさんの遺跡が発掘されています

・今知られている遺跡の数

約1200ヵ所

・一部が発掘された遺跡の数

約400ヵ所





発掘されていない 謎だらけの遺跡も まだまだ多い

米づくりの始まり!





国づくりの 始まり!



弥生土器(博多区板付遺跡/弥生時代)



もっかんぽ ぶくそうひん 木棺墓・かめ棺墓副葬品 (西区吉武高木遺跡/弥生時代)

Q5 遺跡は見学できるの?

じっさいに いってみよう!



発掘をしているところは危ないので 入れません。

特別に許可がもらえれば、発掘の見学会をおこなう ことがあります。その場合は、新聞やインターネッ トでお知らせします。

遺跡の上を公園にしたり、説明板をおいたりしている場所があります。

- ○板付(いたづけ)遺跡・・・博多区板付2・3丁目
- ○吉武高木(よしたけたかぎ)遺跡・・・西区金武
- ○金隈(かねのくま)遺跡・・・博多区金の隈1丁目
- 〇野方(のかた)遺跡・・・西区野方
- 〇老司(ろうじ)古墳・・・南区老司4丁目
- 〇大塚(おおつか)古墳・・・西区今宿字大塚
- ○鴻臚館(こうろかん)跡・・・中央区城内
- 〇元寇防塁(げんこうぼうるい)・・・西区今津、生の松原、早 良区西新7丁目ほか
- 良区西新7丁目ほか
- 〇名島城(なじまじょう)跡・・・東区名島1丁目
- ○福岡城(ふくおかじょう)跡・・・中央区城内

いつもあそんでいた公園が じつは遺跡だった! なんてこともあるあるだね





やよいの風公園(西区金武/弥生時代)

大塚古墳(西区今宿/古墳時代)



福岡城跡下之橋御門(中央区城内/江戸時代)

Q6 出土品はどこで見られるの?

じっさいに いってみよう!

- ○福岡市博物館 . . . 早良区百道浜 3 丁目
- ○福岡市埋蔵文化財センター

・・・博多区井相田2丁目

- 〇玄洋 (げんよう) 文化財展示室
 - ・・・西区今宿1丁目
- 〇鴻臚館 (こうろかん) 展示館

· · · 中央区城内

先生にきいてみよう!

小学校や公民館に展示していることも あります

福岡市だけでなく全国、世界各地の博物館、資料館でさまざまな出土品を見ることができます



金印(福岡市博物館蔵/弥生時代)



かめ棺(福岡市埋蔵文化財センター蔵/弥生時代)

展示ケースだけでなく、うしろの倉庫にもお宝がいっぱい!



「まいぶんマップ」で遺跡や出土品の写真を見てみよう https://f-chirijoho.jp/maibun_leaflet/approval.html

Q7 考古学の楽しさってなに?



だれも見たことのない大昔のことを、推理(すいり)したり 想像したりするおもしろさがありますが、はっきりとした 答えが出ないため、むずかしい学問でもあります。

??福岡市の考古学の謎 (なぞ) **??**

- 〇いつから人がすみはじめたの?
- 〇縄文時代も農業をしていた?
- 〇早良王(さわらおう)ってだれ?
- ○金印はどうして志賀島(しかのしま)で見つかったの?
- ○卑弥呼(ひみこ)の邪馬台国(やまたいこく)はどこ?
- 〇庚寅銘大刀(こういんめいたち)はどこで作られた?
- ○鎮西探題(ちんぜいたんだい)は博多のどこにあった?
- 〇中世最大の貿易都市博多の港はどこにあったの?
- 〇福岡城に天守閣(てんしゅかく)は作られた?



とうじき 陶磁器 (博多区博多遺跡群/戦国時代)

庚寅銘大刀 (西区元岡古墳群/古墳時代)

遺跡が工事などでこわされないように守るための発掘調査と出土品の研究をつづけることが謎をとく発見につながります。



次に歴史の新たな発見をするのはあなたかもしれません!





もっと知りたい!という人へ

「福岡市の歴史」を知るための本

- 大人向けの本だけど 読んでみよう!
- ・福岡市博物館(編)『FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと』(福岡市博物館常設展示公式ガイドブック) (2013年、福岡市博物館)
- ・福岡市博物館(監修)『福岡博覧』(2014年、海鳥社)
- ・福岡市史編集委員会(編)『わたしたちの福岡市ー歴史とくらしー』(新修福岡市史ブックレット・シリーズ①) (2021年、梓書院)

「福岡市の考古学」を知るための本

- ・常松幹雄(著)『最古の王墓・吉武高木遺跡』(2006年、新泉社)
- ・山崎純男(著)『最古の農村・板付遺跡』(2008年、新泉社)
- ・大庭康時・佐伯弘次・菅波正人・田上勇一郎(編)『中世都市・博多を掘る』(2008年、海鳥社)
- ・大庭康時(著)『中世日本最大の貿易都市・博多遺跡群』(2009年、新泉社)

考古学者になりたい!という人は

考古学を学べるおもな福岡市内の大学

- 〇九州大学 考古学研究室(文学部)
- 〇福岡大学 考古学研究室(人文学部)
- 〇西南学院大学 国際文化学部日本文化コース

「福岡市の考古学」スタートブック

令和3 (2021) 年7月30日 初版発行 令和4 (2022) 年7月12日 第2版発行

福岡市埋蔵文化財センター

Fukuoka City Archaeological Center



〒812-0881 福岡市博多区井相田2丁目1-94 電話 092-571-2921 FAX 092-571-2825 電子メール maibun-c.EPB@city.fukuoka.lg.jp ホームページ https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/